

## 平成 23 年度 医療安全管理の取組について

横浜市立市民病院、脳血管医療センターの「平成 23 年度 医療安全管理の取組について」は、別添資料のとおりです。

お問い合わせ先		
病院経営局総務課長（兼 市民病院総務課長）	堀川 尚実	Tel 045-331-7721
脳血管医療センター医事課長	倉本 裕義	Tel 045-753-2659

# 平成23年度 医療安全管理の取組について【概要】

## － 医療事故・医療安全の取組の報告－

### 【横浜市立市民病院・横浜市立脳血管医療センター】

病院経営局が直接運営する市民病院及び脳血管医療センターの、平成23年度における医療事故及び医療安全管理の取組について、報告がまとまりましたので公表します。

#### 1 平成23年度中に発生した医療事故の一括公表事案の件数

	21年度	22年度	23年度	対前年度 増減
市民病院	1件	0件	1件	1件
脳血管医療センター	0件	0件	0件	0件
計	1件	0件	1件	1件

#### 2 主な医療安全の取組について

##### (1) 市民病院

###### ① 患者・家族の医療参加

患者さんと医療者が治療目標を共有し、患者さんの医療参加を促進することを目的に、昨年度から一部の病棟で試行していた「患者参加型カンファレンス」を拡充実施しました。

###### ② 部門を超えたスタッフ間の連携の促進

入院中の睡眠薬の使用に関する方針を定め、多部門、多職種からなるプロジェクトを中心に、患者向けパンフレットの作成や職員への周知を行いました。

###### ③ 医療安全への参加意識の向上

インシデントの再発防止策等を掲載した「医療安全ニュースレター」を毎月発行するほか、安全管理研修の開催回数を増やし、受講機会の拡大を図りました。

##### (2) 脳血管医療センター

###### ① 確認行為の周知徹底

医療安全週間での様々な取組や安全管理研修会などを通じて、薬剤、検査時の「指さし・声出し」の徹底を呼びかけました。

###### ② 医療安全研修の開催方法の工夫

全職員対象の研修回数を増やすとともに、具体的なインシデント事例を題材に、実技を伴った研修を実施し、すぐに実務へ反映できるような工夫を行いました。

#### 3 インシデント報告件数

	21年度	22年度	23年度	対前年度 増減
市民病院	2,434件	2,976件	3,232件	256件
脳血管医療センター	1,465件	1,327件	1,076件	△251件
計	3,899件	4,303件	4,308件	5件

これらのインシデント報告を分析することにより、転倒・転落や薬剤の誤飲等の医療事故を防止し、診療業務や感染防止対策などにおいて、安全管理の視点に立った業務改善を行っています。

※インシデント：医療従事者が医療を行ううえで、“ヒヤリ”としたり、“ハッ”とした経験で、医療事故には至らなかった事例をいいます。

平成 2 3 年度 医療安全管理の取組について

平成 24 年 7 月 13 日

横浜市病院経営局

# 目 次

<b>1</b>	<b>一括公表事案</b> . . . . .	<b>1</b>
<b>2</b>	<b>市民病院の取組状況</b> . . . . .	<b>2</b>
	(1) 主な改善項目 . . . . .	3
	(2) 安全管理に係る委員会等の活動状況 . . . . .	5
	(3) 安全管理研修等の開催状況 . . . . .	8
	(4) インシデント報告の状況 . . . . .	11
<b>3</b>	<b>脳血管医療センターの取組状況</b> . . . . .	<b>12</b>
	(1) 主な改善項目 . . . . .	13
	(2) 安全管理に係る委員会等の活動状況 . . . . .	15
	(3) 安全管理研修等の開催状況 . . . . .	17
	(4) インシデント報告の状況 . . . . .	21

# 1 一括公表事案

番号	概要
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>事故発生場所</b>           横浜市立市民病院</li> <li>・ <b>事故発生日</b>           平成 23 年 6 月 22 日</li> <li>・ <b>患者の年代</b>           70 代</li> <li>・ <b>患者の性別</b>           男性</li> <li>・ <b>事故発生状況・結果の概要</b>  <p>患者さんは平成 23 年 4 月に呼吸器系疾患の治療のために入院されましたが、嚥下障害のため平成 23 年 5 月 18 日に経腸栄養法(※1)を目的として胃管(※2)を挿入しました。6 月 22 日に胃管を交換するために抜去しようとしたが途中で抜去できなくなったため、CT、内視鏡で確認したところ、屈曲した胃管が食道を穿孔し、胃管の先端は縦隔内(※3)にありました。</p> <p>縦隔炎の合併を考え、全身状態の管理と抗生物質の投与を行い、状態が安定していることを確認した後に、6 月 28 日内視鏡下で胃管を抜去し、胃管を抜去した後、縦隔の炎症は治まりました。</p> <p>その後、患者さんは原疾患の悪化により約 1 か月後に亡くなりました。</p> <p>※1 経腸栄養法とは 経口摂取が不可能あるいは不十分な患者に対し体外から消化管内に通したチューブを用いて栄養剤を投与する方法。</p> <p>※2 胃管とは 口または鼻から胃に挿入し胃液や胃の内容物を採取したり、経腸栄養のために用いられるプラスチック製の細い管。排液用と経腸栄養用の管では、材質や留置期間が異なる。</p> <p>※3 縦隔とは 左右の肺と胸椎・胸骨に囲まれた部分。</p> </li> <li>・ <b>事故の原因</b>  <p>胃内の排液を目的とした製品を、経腸栄養を目的として使用し、添付文書上の留置期間を超えて留置したことにより、硬化した胃管が抜去時に食道を穿孔したものと判断しました。</p> </li> <li>・ <b>再発防止策等</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 多職種からなるワーキンググループを設置し胃管の選択と管理についてマニュアルを作成し、全職員が携帯する安全管理ポケットマニュアルに掲載するとともに、安全管理研修で説明・周知しました。</li> <li>(2) メーカーの協力を得て、胃管の外装に使用目的と注意喚起の表示を行うとともに、医療機器安全性情報報告書を厚生労働省に提出しました。</li> <li>(3) マニュアルの遵守状況を確認する目的で、一定間隔で胃管の選択と管理状況調査を行い、調査結果を職員にフィードバックしています。</li> </ol> </li> </ul>

## 2 市民病院の取組状況

### 取組の概要

平成 23 年度は、職員の医療安全に関する改善活動への積極的、自発的な参加と安全管理のための知識・技能習得を目標に取り組みました。

セーフティマネージャによるグループ活動としては、生体監視装置の安全対策マニュアルの改訂など、去年のグループ活動で明らかとなった課題へ対応するほか、患者・家族の医療参加を目的としてこれまで一部病棟で試行していた、「患者参加型カンファレンス」の拡充に取り組みました。

11 月の医療安全推進週間では、各部門における医療安全への取組を病院利用者に紹介するポスター展示を 6 部門が行い、また、全職員を対象に「ヒューマンエラー」に関する講演会を開催し、職場におけるヒューマンエラーを防ぐ対策を考える機会としました。

今年度の新たな取組として、患者の転倒・転落防止を目的に、入院前に睡眠薬を服用していない患者に対しては、入院後はじめの 2 日間は睡眠薬を処方しないという「入院中の睡眠薬使用に関する方針」を定めました。この取組は多職種によるプロジェクトにより実現したもので、プロジェクトではこの他に患者向けのパンフレットを作成し、入院時に配布し、職員への方針の周知などの活動を行っています。

また、職員の医療安全への参加意識の向上を目的として「医療安全ニュースレター」を毎月発行し、各部門が自発的に取り組んだインシデントの再発防止対策を紹介しました。

さらに、全職員を対象とした短時間の安全管理研修を複数回開催し、研修機会を増やすとともに、研修受講シールを発行し各自が研修受講履歴を確認できる工夫などを行いました。

# (1) 主な改善項目

市民病院

	項目	改善内容
薬剤	インスリン混合調製時の注意喚起	高カロリー輸液へのインスリン製剤混合調製忘れを防止する対策として、薬剤部から病棟へ薬剤を払い出す際に注意喚起文を添付することとしました。
転倒・転落	転倒・転落発生時の記録整備	発生時間、場所、状況など転倒・転落発生時に必要な事項を漏れなく記載できるよう、記録用テンプレートを作成し電子カルテに登録しました。
	入院中の睡眠薬使用方針の明確化	睡眠薬の使用は転倒・転落の一つの要因となることから、入院中の睡眠薬使用に関する方針を定め、患者向けパンフレットを作成し、入院手続きの際に渡すこととしました。
処置・検査	胃管外装の注意喚起表示	胃管の目的外使用防止対策として排液用胃管の外装に、使用目的と目的外使用に関する注意喚起表示を行いました。
	胃管の安全管理対策	目的に合った胃管を選択し交換が正しく行えるよう、当院で採用している胃管と使用目的、交換頻度、自然抜去時の対応を定め、マニュアル化しました。
	MRI検査時の熱傷防止対策	MRI検査時の高周波ループの発生による熱傷防止対策として、ズボン型の検査着を導入し、検査部位が腰から下肢の場合に着用することとしました。
患者参加	患者参加型カンファレンスの拡充	患者・家族の医療参加を推進する取組の一つとして、患者参加型カンファレンスの試行病棟を拡充しました。
環境整備	病棟浴室の環境整備	浴室内のナースコールの位置表示をわかりやすいものに変更しました。同時に熱湯による火傷防止への注意喚起表示を行いました。
	正面玄関周辺の滑り止め対策	転倒防止のため正面玄関周辺のタイルに滑りにくくする加工を行いました。
安全教育	ニュースレターの発行	職員の医療安全への参加意識向上を目的として、新たな安全対策や各部署・部門の安全対策の紹介等を掲載した医療安全ニュースレターを年2回発行から毎月発行としました。
	安全管理研修参加率向上	安全管理研修未受講職員に研修参加を呼びかけるとともに、短時間の研修を複数回開催することや受講者に毎回研修シールを発行する等の工夫を行いました。その結果、安全管理研修の受講者は昨年に比べ83%増加しました。

その他	安全管理マニュアルの再編集	本篇と資料編に分けて掲載していたものを検索しやすいよう、資料編をなくし1冊に編集しました。
	安全管理マニュアルの改訂	安全管理マニュアルの「胃管に関する安全管理」「生体情報監視装置に関する安全管理」「化学療法の安全管理」「画像診断部領域に関する安全管理」「転倒・転落に関する安全対策」等について改訂しました。
	「安全管理ポケットマニュアル平成24年度版」の発行	医療安全管理指針をはじめ新たに13項目を追加掲載し全職員に配付しました。また、年度途中に採用となった職員にも安全管理に関するオリエンテーション実施時に内容を説明し配布しています。



## (2)安全管理に係る委員会等の活動状況

市民病院

開催回	開催日	主な議題
第1回	平成23年4月20日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成23年度 医療安全管理名簿</li> <li>2 患者相談窓口状況報告</li> <li>3 呼吸療法サポートチーム報告</li> <li>4 医療機器安全管理部会報告</li> <li>5 安全管理マニュアル改訂(第7版)報告</li> <li>6 転倒・転落防止ワーキング報告</li> <li>7 3月のインシデント報告および平成22年度年間インシデント報告</li> <li>8 患者間違いに関するインシデント報告について</li> <li>9 平成23年度BSCにおける医療安全管理に関する取組について</li> <li>10 平成23年度 安全管理活動計画</li> <li>11 平成23年度 安全管理研修計画</li> </ol>
第2回	平成23年5月18日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 患者相談窓口状況報告</li> <li>2 呼吸療法サポートチーム報告</li> <li>3 中心静脈カテーテルに関する安全管理研修報告</li> <li>4 第1回安全管理研修全体研修について</li> <li>5 転倒・転落防止ワーキング報告</li> <li>6 診療録等管理委員会報告</li> <li>7 4月のインシデント報告</li> <li>8 平成23年度セーフティマネージャ会議について</li> <li>9 睡眠薬使用についての患者向けパンフレットについて</li> </ol>
第3回	平成23年6月15日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 患者相談窓口状況報告</li> <li>2 呼吸療法サポートチーム報告</li> <li>3 新セーフティマネージャオリエンテーションについて</li> <li>4 安全管理研修全体研修参加状況等報告</li> <li>5 安全管理研修医薬品安全管理研修について</li> <li>6 転倒・転落防止ワーキング説明会報告</li> <li>7 《安全対策の実施状況評価》転倒・転落発生時の院内共通対応策</li> <li>8 5月のインシデント報告と事例紹介</li> <li>9 麻薬関連インシデントについて</li> </ol>
第4回	平成23年7月20日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 患者相談窓口状況報告</li> <li>2 呼吸療法サポートチーム報告</li> <li>3 医療機器安全管理部会報告</li> <li>4 「患者の安全管理に関する評価委員会」報告</li> <li>5 分析部会報告</li> <li>6 《安全対策の実施状況評価》入浴に関する安全管理</li> <li>7 《安全対策の実施状況評価》薬剤師による持参薬確認</li> <li>8 《安全対策の実施状況評価》医薬品マスタ登録</li> <li>9 セーフティマネージャグループ活動テーマについて</li> <li>10 6月のインシデント報告</li> <li>11 インスリン関連インシデントについて</li> <li>12 不眠時・不穏時推奨処方ofの臨床パスプロジェクト内検討報告</li> <li>13 安全管理研修全体研修「当院の安全対策」終了報告</li> <li>14 インシデントレポート入力システム改修報告</li> </ol>

第5回	平成23年9月21日	1 患者相談窓口状況報告 2 呼吸療法サポートチーム報告 3 医薬品安全管理部会報告 4 《安全対策の実施状況評価》入院患者の不眠時及び不穏時推奨処方と対応 5 《安全対策の実施状況評価》浴室の環境整備 6 《安全対策の実施状況評価》胃管に関する安全管理 7 7、8月のインシデント報告 8 薬剤部、画像診断部の改善報告 9 患者間違いインシデントについて 10 当院における放射性同位元素の投与について
第6回	平成23年10月19日	1 患者相談窓口状況報告 2 呼吸療法サポートチーム報告 3 9月のインシデント報告 4 4、5月採用・異動職員によるインシデントについて 5 《安全対策の実施状況評価》高濃度ヘパリン製剤の安全な運用 6 《安全対策の実施状況評価》ベビーセンス 7 《安全対策の実施状況評価》転倒・転落発生時の記録 8 白熱球の熱による医療機器等損傷事例と改善策 9 血液ガス分析データ取違い防止策 10 後期安全管理全体研修について
第7回	平成23年11月16日	1 患者相談窓口状況報告 2 呼吸療法サポートチーム報告 3 10月のインシデント報告と事例紹介 4 検査部、外来の改善報告 6 《安全対策の実施状況評価》高カロリー輸液投与ルート間違い防止 7 《安全対策の実施状況評価》医薬品適応外使用 8 《安全対策の実施状況評価》胃管の管理 9 医療安全推進週間について 10 安全管理マニュアルの掲載内容・構成(案)について 11 平成24年度版安全管理ポケットマニュアル(案)について 12 「胃管に関する安全管理」改訂(案)について
第8回	平成23年12月14日	1 患者相談窓口状況報告 2 呼吸療法サポートチーム報告 3 医療機器安全管理部会報告 4 医療監視報告 5 11月インシデントの報告 6 形成外科手術における対応報告 7 高カロリー輸液の付加文字について
第9回	平成24年1月18日	1 患者相談窓口状況報告 2 呼吸療法サポートチーム報告 3 安全管理研修酸素療法研修について 4 12月のインシデント報告 5 外来部門等における実績入力の可否について 6 「患者の安全管理に関する評価委員会」報告 7 分析部会報告 8 高カロリー輸液投与方法選択時の入力制限と付加文字について 9 「医療安全管理指針」改訂(案)について

第10回	平成24年2月15日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 患者相談窓口状況報告</li> <li>2 呼吸療法サポートチーム報告</li> <li>3 医薬品安全管理部会報告</li> <li>4 1月のインシデント報告</li> <li>5 薬剤部の改善報告</li> <li>6 セーフティマネジャ「胃管に関する安全管理グループ」経過報告</li> <li>7 安全管理マニュアル第8版の改訂内容について</li> <li>8 安全管理マニュアル改訂(案)3項目について</li> <li>9 「転倒・転落発生時の院内共通対応策」改訂(案)について</li> <li>10 「入院患者の不眠時及び不穏時の推奨処方と対応(院内共通)」改訂(案)について</li> </ol>
第11回	平成24年3月21日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 患者相談窓口状況報告</li> <li>2 呼吸療法サポートチーム報告</li> <li>3 電子カルテトップ画面への安全管理マニュアル掲載について</li> <li>4 2月のインシデント報告と事例紹介</li> <li>5 《安全対策の実施状況評価》睡眠導入剤の使用状況</li> <li>6 《安全対策の実施状況評価》転倒・転落発生時の記録</li> <li>7 「不眠時及び不穏時推奨指示と対応」指示コメント登録について</li> <li>8 「胃管に関する安全管理」改訂(案)について</li> </ol>

### (3)安全管理研修等の開催状況

市民病院

開催月	内容	対象者	参加職種	合計	
5月	当院の安全対策（5回）	全職員	医師 看護師 薬剤師 放射線技師 臨床検査技師 理学療法士 臨床工学技士 栄養士 MSW 事務 他	72名 186名 21名 30名 21名 10名 5名 6名 5名 44名 3名	403名
	中心静脈カテーテルに関する安全管理	研修医・看護師	研修医	28名	28名
	看護技術研修：輸液・シリンジポンプ	新採用看護師	看護師	49名	49名
	入院患者の不眠時及び不穏時の推奨処方と対応	医師・看護師 薬剤師	医師 看護師 薬剤師 事務	29名 51名 14名 1名	95名
6月	当院の安全対策（2回）	全職員	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 理学療法士 事務	14名 69名 5名 1名 3名 11名	103名
	人工呼吸器アドバンスコース	研修医	研修医	10名	10名
7月	当院の安全対策（3回）	全職員	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 放射線技師 事務	17名 95名 3名 13名 3名 10名	141名
	人工呼吸器アドバンスコース	研修医	研修医	12名	12名
	事例分析手法	全職員	看護師 薬剤師 臨床検査技師	10名 2名 1名	13名
	静脈注射研修	看護師	看護師	58名	58名
	インスリンと麻薬の取り扱い	新採用看護師	看護師	45名	45名
	第1回医薬品安全管理研修 「インスリン管理および麻薬管理」	全職員	看護師 薬剤師 栄養士	21名 15名 1名	37名
8月	安全対策研修 「医療現場における暴力・暴言対策研修 ～自らの身を守るために～」	全職員	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 放射線技師 栄養士 事務 他	1名 42名 1名 8名 8名 1名 10名 2名	71名
9月	事例分析手法	全職員	看護師 薬剤師 臨床工学技士	5名 3名 1名	9名
10月	静脈注射研修	看護師	看護師	31名	31名
	多重課題への対応トレーニング	新採用看護師	看護師	34名	34名

11月	安全対策研修 「医療現場における暴力・暴言対策研修 ～自らの身を守るために～」	全職員	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 放射線技師 理学療法士 臨床工学技士 栄養士 視能訓練士 事務 他	22名 54名 1名 6名 6名 4名 2名 3名 1名 11名 1名	111名
	血液透析装置の原理と取扱方法	I C U看護師	看護師	19名	19名
	人工呼吸器アドバンスコース	研修医	研修医	7名	7名
	医療安全推進週間講演会 「ヒューマンエラーはなぜ起こる？どう防ぐ？」	全職員	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 放射線技師 理学療法士 臨床工学技士 栄養士 事務 他	26名 104名 10名 9名 7名 2名 8名 1名 9名 12名	188名
12月	安全管理研修講演会 「医療紛争に対する戦略的視点 ～医療者としてなすべきこと～」	全職員	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 放射線技師 臨床工学技士 M S W 事務	45名 57名 5名 5名 1名 1名 1名 11名	126名
1月	事例分析手法	全職員	看護師 薬剤師	5名 4名	9名
	自殺未遂者支援実務研修 「自殺に傾いている人にどう対応したらよいか ～基礎と実践～」	全職員	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 放射線技師 栄養士 理学療法士 技術職 視能訓練士 M S W 事務	28名 46名 2名 5名 1名 1名 1名 1名 1名 2名 10名	98名
	I A B P 駆動装置の原理と取扱方法	看護師	看護師	10名	10名
	静脈注射研修	看護師	看護師	18名	18名
	酸素療法器具の安全な取扱い	医師・看護師 コメディカル	医師 看護師 臨床工学技士	13名 57名 3名	73名

2月	第2回医薬品安全管理研修 「医薬品の安全管理と抗がん剤被ばく」	全職員	看護師 薬剤師	14名 11名	25名
	セーフティマネージャ活動報告会	全職員	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 放射線技師 理学療法士 臨床工学技士 栄養士 事務 他	18名 60名 5名 2名 3名 1名 6名 1名 4名 1名	101名
3月	電気安全研修 ～医療機器と病院設備～	全職員	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 放射線技師 臨床工学技士 栄養士 技術職 事務	5名 57名 2名 4名 4名 3名 3名 10名 1名	89名
通年	人工呼吸器基礎Ⅰ「呼吸生理と安全管理」(8回)	看護師	看護師	53名	53名
	人工呼吸器基礎Ⅱ「人工呼吸器の操作方法」(9回)	看護師	看護師	75名	75名
	輸液・シリンジポンプ (1回/月)	中途採用看護師	看護師	25名	25名
合計					2166名

#### 1次救命処置院内講習会

通年	BLS研修 (13回)	全職員	看護師 MSW 事務	52名 2名 1名	55名
合計					55名

#### オリエンテーション (受け入れ時研修)

通年	安全管理体制とリスクマネジメント (1回/月)	新採用・転入職員	医師 看護師 薬剤師 臨床工学技士 臨床検査技師 放射線技師 理学・作業療法士 MSW 事務	70名 73名 3名 3名 2名 1名 6名 1名 17名	
合計					176名

#### (4)インシデント報告の状況

市民病院

23年度 延べ入院患者 197,479人、延べ外来患者数 295,023人

22年度 延べ入院患者 202,268人、延べ外来患者数 302,694人

#### 【事象別】

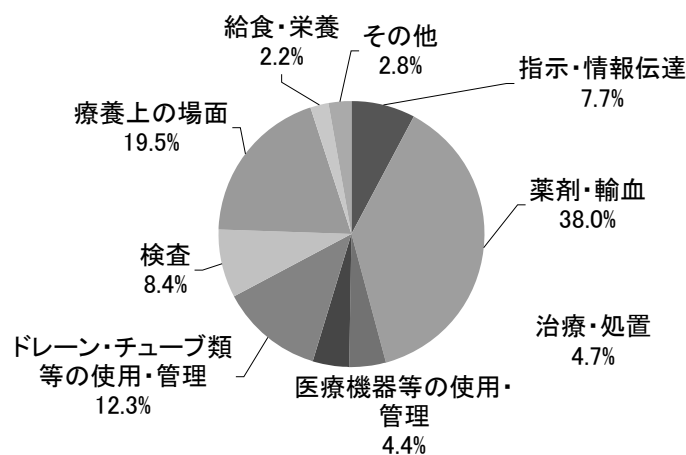
(件数)

インシデント報告	22年度	23年度	増減	23年度 構成比
		2976	3232	256
指示・情報伝達	180	249	69	7.7%
薬剤・輸血	1126	1228	102	38.0%
(内訳)				
処方	68	103	35	3.2%
調剤・製剤管理等	235	188	▲ 47	5.8%
与薬(注射・点滴・中心静脈注射)	336	388	52	12.0%
与薬(内服薬)	327	372	45	11.5%
与薬(その他)	108	109	1	3.4%
麻薬	45	53	8	1.6%
輸血・血液製剤	7	15	8	0.5%
治療・処置	121	151	30	4.7%
医療機器等の使用・管理	96	143	47	4.4%
ドレーン・チューブ類等の使用・管理	388	398	10	12.3%
検査	226	270	44	8.4%
療養上の場面	612	630	18	19.5%
(内訳)				
転倒・転落	509	496	▲ 13	15.3%
その他	103	134	31	4.1%
給食・栄養	76	72	▲ 4	2.2%
その他	151	91	▲ 60	2.8%

#### 【職種別】

インシデント報告	22年度	23年度	増減	23年度 構成比
		2976	3232	256
医師	58	69	11	2.1%
看護師・助産師	2642	2830	188	87.6%
放射線技師	32	78	46	2.4%
薬剤師	110	110	0	3.4%
臨床検査技師	49	40	▲ 9	1.2%
PT・OT・ST・視能訓練士・心理療法士	19	22	3	0.7%
臨床工学技士	22	52	30	1.6%
栄養士・調理師	35	28	▲ 7	0.9%
事務職員	8	2	▲ 6	0.1%
その他	1	1	0	0.0%

#### 事象別



### 3 脳血管医療センターの取組状況

#### 取組の概要

平成 23 年度は、リスクマネジメント部会の重点課題として「**確認行為の周知徹底、特に薬剤、検査時の『指さし・声出し』の徹底**」に取り組みました。主な取組としては、医療安全週間を利用した職員啓発、安全管理の研修会への全職員参加、その他様々な場面で『指さし・声出し』の必要性についての意識改革を行いました。しかし、3 月に行った「確認行為自己評価」アンケート、年間のインシデント報告、各部署での取組からは、一定の改善は図れていたものの不十分なところもありましたので、次年度の取組につなげていくこととしました。

医療安全対策の遵守状況については、「身体抑制」をテーマとして、全病棟の患者を対象に、ラウンド、カルテ記載、現場での聞き取り等の調査を行いました。今後、調査結果をもとに、ルールの妥当性・現実性の検証、環境（指示の定型化・テンプレートの活用等）づくりを進めていきます。

各部署への医療安全活動の支援については、看護部各部署のリスクマネージャーと定期的にミーティングを行い、意見交換や対応策の検討を行いました。また、医療機器に関連するインシデントについては臨床工学技士と、食物アレルギーに関するインシデントについては管理栄養士と連携を図り、現場へ早期の介入・支援を行いました。

医療安全に関する情報の職員周知については、リスクマネージャーに対して部会の中でミニレクチャーを行い、医療安全に関連した情報の共有化や知識の習得に努めました。また全職員を対象とした研修については、回数を増やすとともに開催時間を参加しやすい時間に変更し、研修参加者を増やしました。また、新たな試みとして、毎年研修を実施しているにも関わらず発生するインシデント事例を題材とし、すぐに実践に結びつけられるように実技を伴った研修を開催しました。



# (1)主な改善項目

## 脳血管医療センター

	項目	改善内容
薬剤	「お薬手帳」から得た院内採用薬等の情報提供	医師に従来から実施していた持参薬の鑑別及び院内採用薬等の情報提供に加え、持参したお薬手帳の情報から得た院内採用薬及び服用薬等の情報提供を開始した
	ディスオーパ消毒液の交換日管理票の作成	他院の消毒薬の不適切な使用事例から、使用部署ごとで作成していた管理票を院内統一の「ディスオーパ消毒液の交換日管理票」とした
	「ミンクリア内用散布液 0.8% 20ml」の管理方法	形態が注射器仕様のため、配置部署限定とし、配置場所では分別保管とし、保管場所には注意喚起を促すカラフルなラベルを貼付した。また、使用時の確認方法や、輸液管理中の患者対応（誤接続防止）などマニュアル化した。
	潤滑剤の使い分け	潤滑剤(キシロカインゼリー、KYゼリー、カテゼリー)の使用基準、配置場所等決定し、一覧にし、周知した。
物品	ブレードガード付安全はさみ	切傷事故等を防止するために、回復期病棟にブレードガード付安全はさみ(右手用)を配置。内服薬の開封練習等でハサミを使用する患者さん、特に、怪我をする危険性が高い方などへの貸出用に活用している
	人工呼吸器ホルダーの導入	移動時の人工呼吸器の落下防止のため、ベッドに取り付けられるホルダーを導入した。
	プレスセーフバイトブロックの使用	①バイトブロックの選択基準等はなく、看護師の判断にまかされていたため、プレスセーフバイトブロックの使用部署の限定 ②使用選択基準の作成 ③使用手順の作成 を行った。
	ベッド柵カバーの導入	ベッド柵挟まり防止策として、大・小のベッド柵を覆うタイプのカバーを導入し、部署限定試行から、数も増やし現在は中央管理としている。
体制	同意書の一元化推進	①分散管理されている同意書の一元化推進 ②『同意書作成の手引き』の見直し ③同意書の書式・内容の一部改訂 を行った。
	救急外来における患者情報(薬剤禁忌情報)の把握	救急時の補完方法を策定した。
	行方不明時の体制	現状に沿った体制、フロー図を作成し、職員共通マニュアルに掲示した。安全管理マニュアル内ではフローズは資料扱いとし、「離棟・離院防止策」を新たに作成した。

体制	危険物持ち込み対策	以下の対策をたてた。 ① 入院のご案内に持ち込み禁止品として追加する。 ② 「刃物等のお持込について」の院内掲示 ③入院オリエンテーション時の説明、家族への協力依頼
	医療安全管理マニュアルの加除	第2編(共通篇):「行方不明時の対応」削除 「離棟・離院防止」新規作成。「自殺企図時の対応」新規作成。資料編として「自殺予防および自殺企図対応」新規作成。「栄養における安全管理」新規作成
	各種マニュアルの改訂	第1編:「医療機器安全管理体制と業務」一部追加。「医薬品・医療機器等安全情報報告制度」事務局を一部変更。 第2編(共通篇):「説明と同意」「低血糖マニュアル」「転倒転落予防マニュアル」「医療機器に関する安全管理」等を現状に合わせて改訂した。
研修	医療安全研修運用の工夫	①より実践に結び付けやすい演習を取り入れた研修や、短時間で、都合の良いときに参加できるポスターセッション研修を実施した。
		②医療安全研修の未受講者対応の工夫 医療安全研修の未受講者へは、DVD上映会を開催、回数を増やすだけでなく、変則勤務者や時差、育短者等も受講しやすい夜勤前後や、昼食時間などにも開催した。
		③BSC「メディエーター制度導入」に関して、制度導入の必要性は低く、導入より全職員への医療メデイエーションの概念・手法の周知が妥当と判断し専門家による全職員対象の研修を実施した。
	体験型医薬品安全管理研修会の開催	全職員を対象に「インシデント事例に基づく体験型医薬品安全管理研修会」を開催した。 ・輸液製剤の未開通事例から、輸液製剤の進化の歴史、製剤の特徴の説明と実物のサンプルを用意し、参加者に隔壁開通の体験をしてもらった ・糖尿病治療剤の特徴をまとめたポスターの作成と実物を用意し、参加者に分類、作用等を説明した。
その他	医療安全週間の取組	① 医療安全巡回の実施 作成した巡回項目をもとに、医療安全管理室メンバーによる医療安全巡回を実施した。 ② 各部署では「確認行為」の取り組み強化期間とし、医療安全管理室では遵守状況の調査を行った。 ③ 「確認」をテーマに動画を用いた受講者参加型の研修会を開催した。

## (2)安全管理に係る委員会等の活動状況

脳血管医療センター

開催回	開催日	主な議題
第1回	平成23年4月14日	1 3月分インシデント報告 2 3月分医薬品点検結果報告 3 平成23年度 医療安全管理体制と委員会開催、研修計画について 4 事例報告 ①食事提供に関する事例 ②即時報告事例 ③無断離院事例 5 報告事項 ①救急カートの改善 ②マニュアル改訂 ③AED設置について
第2回	平成23年5月12日	1 平成23年度 医療安全管理体制(変更)と委員向けレクチャー 2 4月分インシデント報告 3 4月分医薬品点検結果報告 4 事例報告 ①ペン型インスリン(持参薬)に関する事例 ②ベッド柵に関する事例 5 リスクマネジメント部会報告 6 7月医療安全週間について 7 患者の安全管理に関する評価委員会について
第3回	平成23年6月9日	1 5月分インシデント報告 2 5月分医薬品点検結果報告 3 事例報告 ①気管チューブ管理に関する事例 ②人工呼吸器落下事例 ③クリティカルパスに関連した事例 ④内視鏡洗浄消毒装置に関する事例(他院事例) 4 患者の安全管理に関する評価委員会について 5 医療安全週間について 6 その他医療安全研修の実施について 7 医療安全情報(No.52、53、54)
第4回	平成23年7月14日	1 6月分インシデント報告 2 6月分薬剤関連報告、医薬品点検結果報告 ①厚労省通達「医療用麻薬及び向精神薬の適正使用及び管理の徹底」周知 ②ミンクリア内用散布液採用に伴う当センターの運用について 3 「病院経営局患者の安全に関する評価委員会」報告 4 医療安全週間ラウンド結果報告 5 医療安全研修報告及び開催予定
第5回	平成23年9月8日	1 7・8月分インシデント報告 2 7・8月分医薬品点検結果報告 3 事例報告 ①骨折事例 ②RI検査において推奨投与量以上の検査薬が投与された事例(他院事例) 4 医療監視結果 5 医療安全研修報告及び開催予定 6 医療安全情報(No.56、No.57)

開催回	開催日	主な議題
第6回	平成23年10月13日	1 9月分インシデント報告 2 9月分医薬品点検結果報告 3 事例報告 ①口頭指示事例 ②隔壁開通忘れ事例 ③患者暴力 4 転倒転落予防マニュアル改訂 5 医療安全点検(身体抑制)報告 6 医療安全週間(11月)について 7 医療安全研修開催予定
第7回	平成23年11月10日	1 10月分インシデント報告 2 10月分医薬品点検結果報告 3 事例報告 ①ハサミによる自殺未遂事例 4 医療安全週間について 5 医療安全研修開催予定
第8回	平成23年12月8日	1 11月分インシデント報告 2 11月分医薬品点検結果報告 3 検討事項 ①造影CT検査説明・同意書について ②危険物持込禁止ポスターについて 4 事例報告 ①食物アレルギー事例 ②医療機器の管理に関する事例 5 医療安全研修実施報告
第9回	平成24年1月12日	1 12月分インシデント報告 2 12月分医薬品点検結果報告 3 事例報告 ①指示に関する報告 ②骨折事例 4 検討事項 ①説明・同意書作成の手引きの改訂について ②「患者の安全に関する評価委員会」開催について
第10回	平成24年2月19日	1 1月分インシデント報告 2 1月分医薬品点検結果報告 3 検討事項 ①医療安全管理マニュアルの改訂案提示 ②「患者の安全に関する評価委員会」報告
第11回	平成24年3月8日	1 2月分インシデント報告 2 2月分医薬品点検結果報告 3 事例報告 ①患者情報の伝達に関する事例 4 検討事項 ①医療安全管理マニュアルの改訂について ②潤滑剤の使い分けについて

### (3)安全管理研修等の開催状況

脳血管医療センター

開催月	開催内容	対象者	参加職種	合計
4月	輸液ポンプ、シリンジポンプの取扱 生体監視モニターの取扱 [講師:臨床工学技士]	新採用看護師	看護師	11名 11名
5月	【ミニレクチャー】 リスクマネジメントの概念 インシデント報告システム ヒューマンエラー [講師:医療安全担当]	リスクマネジャー 看護主任	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 放射線技師 栄養士 リハ部セラピスト 臨床工学技士 事務	2名 8名 2名 1名 1名 1名 1名 1名 2名 19名
6月	車いすの取扱 エレベーター停止時の患者移送 [講師:理学療法士]  ※2回開催	全職員	看護師 薬剤師 放射線技師 リハ部セラピスト 事務・MSW 委託	14名 3名 1名 15名 11名 2名 46名
	【ミニレクチャー】 指さし声だし確認 ダブルチェックについて [講師:医療安全担当]	リスクマネジャー 看護主任	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 放射線技師 栄養士 リハ部セラピスト 臨床工学技士 事務	2名 18名 2名 1名 1名 1名 1名 1名 2名 29名
	人工呼吸器研修 [講師:医師、臨床工学技士、集中ケア認定看護師]	新採用看護師	看護師	14名 14名
7月	医療安全週間研修会 「指さし声だし確認について」 「ダブルチェックについて」 [講師:医療安全担当]  ※8回開催 ※他に委託伝達講習56名	全職員	医師 看護師 看護補助者・介護福祉士 リハ部セラピスト 臨床検査技師 放射線技師 薬剤師 事務・MSW・CE 栄養士 委託	13名 181名 39名 46名 8名 12名 14名 33名 3名 65名 414名
	医薬品安全管理研修 「インスリンに関する事例から」 [講師:薬剤師]  ※2回開催	全職員	医師 看護師 看護補助者・介護福祉士 リハ部セラピスト 臨床検査技師 放射線技師 薬剤師 事務・MSW・CE 栄養士 委託	13名 115名 10名 31名 7名 11名 14名 27名 2名 8名 238名

開催月	開催内容	対象者	参加職種	合計	
10月	【ミニレクチャー】 組織風土 [講師:医療安全担当]	リスクマネジャー 看護主任	医師 看護師 薬剤師 放射線技師 栄養士 リハ部セラピスト 臨床工学技士 事務	2名 17名 2名 1名 1名 1名 1名 3名	28名
	医療現場における ヒューマンエラー対策 [講師:河野龍太郎氏 自治医科大学教授]	全職員	医師 看護師 看護補助者・介護福祉士 リハ部セラピスト 臨床検査技師 放射線技師 薬剤師 事務・MSW・CE 委託	3名 65名 4名 11名 2名 4名 8名 12名 4名	113名
11月	医療現場における ヒューマンエラー対策 (DVD上映会(計6回))	未受講者	医師 看護師 看護補助者・介護福祉士 リハ部セラピスト 臨床検査技師 放射線技師 薬剤師 事務・MSW・CE 委託	3名 59名 23名 53名 6名 7名 6名 16名 50名	223名
	【ミニレクチャー】 アサーション [講師:医療安全担当]	リスクマネジャー 看護主任	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 放射線技師 リハ部セラピスト 事務	2名 20名 2名 1名 1名 1名 4名	31名
	医薬品安全管理研修 「抗糖尿病薬」「隔壁開通体験」等 [講師:薬剤師]  ※6日間(計8回)開催	全職員	医師 看護師 看護補助者・介護福祉士 リハ部セラピスト 臨床検査技師 放射線技師 薬剤師 事務・MSW・CE 栄養士 委託	1名 178名 33名 70名 8名 11名 14名 23名 3名 66名	407名
	【ミニレクチャー】 人間の行動(SRKモデル) [講師:医療安全担当]	リスクマネジャー 看護主任	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 栄養士 事務	2名 19名 2名 1名 1名 4名	29名
	医療安全週間研修会 モニターアラームコントロールチーム 呼吸サポートチーム	全職員	医師 看護師 リハ部セラピスト	9名 53名 28名	

開催月	開催内容	対象者	参加職種	合計
12月	救急サポートチーム より [講師:院内各チーム職員]		臨床検査技師 1名 放射線技師 8名 事務・MSW・CE 13名 栄養士 1名	112名
	AHAガイドライン2010説明会 [講師:循環器内科医師]	全職員	医師 17名 看護師 55名 リハ部セラピスト 4名 放射線技師 1名 薬剤師 8名 事務・MSW・CE 2名 栄養士 1名	88名
1月	【ミニレクチャー】 事例分析について [講師:医療安全担当]	リスクマネジャー 看護主任	医師 2名 看護師 20名 薬剤師 2名 臨床検査技師 1名 放射線技師 1名 栄養士 1名 臨床工学技士 1名 事務 1名	29名
2月	【ミニレクチャー】 ダブルチェックについて [講師:医療安全担当]	リスクマネジャー 看護主任	医師 3名 看護師 19名 薬剤師 2名 臨床検査技師 1名 放射線技師 1名 栄養士 1名 臨床工学技士 1名 事務 2名	30名
	医療におけるコンフリクト・マネジメント [講師:安藤哲朗氏 安城更生病院]	全職員	医師 2名 看護師 43名 看護補助者・介護福祉士 2名 リハ部セラピスト 33名 臨床検査技師 4名 放射線技師 3名 薬剤師 6名 栄養士 1名 事務・MSW・CE 13名 委託 1名	108名
	医療におけるコンフリクト・マネジメント (DVD上映会(計4回))	未受講者	医師 1名 看護師 45名 看護補助者・介護福祉士 8名 リハ部セラピスト 25名 臨床検査技師 1名 放射線技師 6名 薬剤師 7名 栄養士 2名 事務・MSW・CE 8名 委託 5名	108名
			合計	2077名

1次救命処置、2次救命処置 院内講習会

開催月	開催内容	対象者	参加職種	合計	
通年	1次救命処置講習会 ※4回開催	全職員	医師	1名	53名
			看護師	41名	
薬剤師	2名				
介護福祉士・看護補助者	5名				
リハ部セラピスト	2名				
臨床検査技師	2名				
合計				53名	

安全管理オリエンテーション(雇入れ時研修)

開催月	開催内容	対象者	参加職種	合計	
4月	医療安全管理体制と医療安全対策 [講師:安全管理担当]	新採用職員 転入職員	看護師	11名	32名
			医師	3名	
			リハ部セラピスト	8名	
			薬剤師	3名	
			事務・MSW・CE	7名	
通年	医療安全管理体制と医療安全対策 [講師:安全管理担当] ※2回実施	新採用職員 長期休業明け職員	看護師	9名	9名
合計				41名	



#### (4) インシデント報告の状況

#### 脳血管医療センター

23年度 延べ入院患者 71,707人、延べ外来患者数 33,944人

22年度 延べ入院患者 73,924人、延べ外来患者数 33,308人

#### 【事象別】

インシデント報告	22年度	23年度	増▲減	23年度 構成比
		1,327件	1,076件	▲ 251
指示・情報伝達	75件	58件	▲ 17	5.4%
薬剤・輸血	304件	239件	▲ 65	22.2%
(内訳)				
処方	14件	5件	▲ 9	0.5%
調剤・製剤管理等	51件	46件	▲ 5	4.3%
与薬(注射・点滴・中心静脈注射)	64件	41件	▲ 23	3.8%
与薬(内服薬)	163件	143件	▲ 20	13.3%
与薬(その他)	10件	2件	▲ 8	0.2%
麻薬	1件	-	▲ 1	0.0%
輸血・血液製剤	1件	2件	▲ 1	0.2%
治療・処置	49件	49件	0	4.6%
医療機器等の使用・管理	29件	10件	▲ 19	0.9%
ドレーン・チューブ類等の使用・管理	281件	249件	▲ 32	23.1%
検査	84件	57件	▲ 27	5.3%
療養上の場面	449件	344件	▲ 105	32.0%
(内訳)				
転倒・転落	389件	296件	▲ 93	27.5%
その他	60件	48件	▲ 12	4.5%
給食・栄養	20件	33件	▲ 13	3.1%
その他	36件	37件	▲ 1	3.4%

#### 【職種別】

インシデント報告	22年度	23年度	増減	23年度 構成比
		1,327件	1,076件	▲ 251
医師	14件	12件	▲ 2	1.1%
看護師・助産師	1,196件	978件	▲ 218	90.9%
放射線技師	23件	10件	▲ 13	0.9%
薬剤師	18件	14件	▲ 4	1.3%
臨床検査技師	8件	3件	▲ 5	0.3%
PT・OT・ST・視能訓練士・心理療法士	58件	53件	▲ 5	4.9%
臨床工学技士	7件	3件	▲ 4	0.3%
栄養士・調理師	2件	2件	0	0.2%
事務職員	1件	-	▲ 1	0.0%
その他	-	1件	▲ 1	0.1%

